うつぶきどうじ

打吹童子ばやし　（倉吉市）

倉吉には、打つ吹くという伝説があります。子ども達が母である天女を慕い太鼓と笛を打ち吹き鳴らしたという天女と童子の伝説です。打吹童子ばやしは、打吹天女伝説を心のふるさととして伝承していこうと、１９９２年７月に子ども達の打つ吹く太鼓と笛の太鼓連として結成されました。以来３０年、地域のたくさんのイベントで演奏させていただきました。２００２年には活動の中で生まれた交流がきっかけで、カンボジアに遠征。世界遺産アンコールワットの町シェムリアップで交流演奏会をしました。

２００６年５月（母の日）に、１５年目の活動を記念して、打吹山の山頂で演奏会をしました。１０月には、倉吉市の姉妹都市である韓国羅州（ナジュ）市に訪問し文化交流をしました。１１月には、鳥取県青少年郷土芸能の祭典で、新曲「新･八犬伝」を発表しました。

２００７年１０月に千葉県館山市、２００８年７月に明石市雲晴寺で、また１１月には国民文化祭茨城「和太鼓フェスティバル」に初出演しました。

２０１１年２月に初めて単独演奏会を倉吉未来中心大ホールで開催しました。以来、毎年３月に地元の文化ホールで演奏会をしています。

２０１９年７月には、鳥取県の派遣で、韓国江原道江陵市で開催された「江陵国際青少年芸術祝典」に初出演しました。

現在、打吹童子ばやしの演奏曲は「打吹童子ばやし～天女と童子の物語～」「里見伝説　新・八犬伝」「長谷寺の絵馬伝説」など１５曲あります。

団員は、倉吉市周辺の小学校１年生から６年生まで、毎週水曜日に倉吉市文化活動センターで夕方５時４０分から７時２０分まで練習をしています。卒業生は２００名を超えました。倉吉打吹太鼓で活躍している子もいます。

子ども達は「打吹童子ばやし」を通して、礼儀を重んじ心を打つ太鼓の世界の楽しさ、助け合い教え合う大切さを学ぶと同時に、ふるさと倉吉の魅力を多くの人に伝えることができることを誇りに感じています。また、「もっと上手になりたい」、「迫力のある奏者になりたい」、「外国でも活躍できるような奏者になりたい」など、大きな夢を持ちながらがんばっています。

伝統芸能活動を通して、子ども達による新たな地域文化を創造しつつ、ふるさとへの誇りや愛着が次の世代に確実に受け継がれていることと思います。これからも、子ども達の心のふるさとづくり、地域振興を目指してがんばって活動していきたいと思っています。

今年も色々なところで演奏をする機会があると思いますが、どうぞ応援してくださいね。

http://www.yume-dondoco.com/douji/

練習風景

各種活動・発表の様子

愛媛県宇和島市　牛鬼まつり　2005.7

韓国羅州市　2006.10

鳥取県青少年郷土芸能の祭典2006　倉吉未来中心

日韓子ども伝統芸能交流発表会2007　倉吉未来中心

千葉県館山市　南総里見まつり　2007.10

兵庫県明石市　雲晴寺　2008.7

国民文化祭いばらき2008「和太鼓フェスティバル」　茨城県神栖市　神栖市文化センター　2008.11